

活動報告書
よこはまワンダーキッズ ワンダーコース
第8回 ～森の自然を味わい歩こう～ 8kmチャレンジハイク

実施日時:2020年2月23日(日)

会場:二俣川駅～白根地区センター(神奈川県横浜市)

<活動のねらい>

●仲間を思い、楽しみながら歩ききる。

<プログラムの構成要素>

自然に対する好奇心 ★★★
創意工夫を楽しむ心 ★★★
仲間とやってみようとする心 ★★★



あっという間に最終回となりました。子どもたちは朝からやる気に満ち溢れた表情で、この表情は「この班での活動も今日で最後」ということを物語っているように感じられました。電車の中ではいつも以上に集中し、「どうしたら楽しく8kmを歩けるか?」ということを一瞬懸命考えていました。



スタート地点での準備体操はいつも通り元気の良い子どもたちでした。そのあとの班ごとの作戦タイムは「誰が地図持つ?」と真剣でした。好奇心を持ちながらも、最後の活動を楽しみたいと行動する姿にとっても変化を感じました。そしていよいよ8kmチャレンジハイクがスタートしました。



「車が来るから気を付けてね。」「あっちが目的地じゃない？」と話をしながら進む子どもたち。初回はキャンプカウンセラーが間に入り会話をしていたことが嘘だったかのように、子どもたち同士で話し合いをしていました。遊ぶことも忘れず、手にはいっぱい枝や木の実がたくさんありました。



拾ったものを手にして、「こんなところに落ちてたよ!」「この実でサッカーしようよ!」と自分だけでなく、友だちに伝える姿をたくさん目にしました。そこから遊びに発展し、笑い声が絶えない道のりでした。



自分ひとりで歩いているのではなく、1年間ともに過ごした仲間と歩いていることを一人ひとりが意識していたように思います。遊びながらも仲間を意識し思いやる姿はとても頼もしく、「きっと1年間楽しかったんだろうな」と大人が見て感じるほどでした。8km中の遊びも子ども同士の会話も、今までの活動から発展しているものが多くありました。この経験が何かのきっかけとなり、子どもたちがさらに輝いていくことを楽しみにしています。